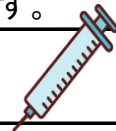
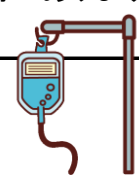
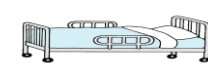



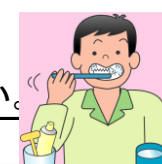



# 【胃全摘術】を受けられる患者様へ

患者様氏名 様

主治医:

No. 1

経過	入院日	手術前	手術後
月 日	/	/	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術・麻酔の説明を聞き同意ができる。</li> <li>・手術の準備ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術の前処置が受けられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血圧・呼吸・脈拍の状態が落ち着いている。</li> <li>・傷の痛みが軽減できる。</li> </ul>
検査	70歳以上の方は足の付け根の動脈から血液検査があります。 手の静脈からも血液検査があります。		
点滴		午後からの手術となるときは 朝9時より点滴が1本あります。	手術後から24時間持続的に点滴があります。 
内服薬	手術日の内服については、 医師または看護師が説明します。 夜9時に看護師が下剤をお持ちします。	薬を飲むように説明を受けた方は 朝6時に少量のお水でお飲みください。	
処置	お部屋でおへそのそうじをします。	6:30頃お部屋で浣腸をします。	酸素吸入を数時間します。 自動血圧計がつきます。 適宜看護師が訪室します。
安静度 リハビリ	制限はありません。 	病棟内は自由です。	手術後は体を左右に動かしましょう。 看護師がお手伝いします。
食事	昼食は5分粥が出ます。夕方から絶食です <b>22時以降は、飲んだり、食べたりしないでください。</b>	飲んだり食べたりできません。 	飲んだり食べたりできません。 口が乾けばガーゼで湿らせることができます。
清潔	おへそのそうじの後、入浴をしてください。 (入浴は予約制になっています) 	朝、洗面・歯磨きをしてください。 化粧はしないでください。 男性の方は、髭剃りをしてください。 	意識がしっかりしており、うがいができる方は 看護師で介助をします。
排泄			尿の管が入り、オムツをしています。
説明	看護師より手術についての説明をします。 手術の承諾書等は看護師にお渡しください。 痛みや吐き気等のあるときはお知らせください。 	右前腕にリストバンドをつけます。 手術着に着がえ、弾性ソックスをはいてください。 時計・眼鏡・金属類・入れ歯は外してください。	痛みや吐き気等のあるときはお知らせください。

注意: 現時点で考えられる予定であり、今後検査・治療を進めていくにしたがって変わることがあります。

パスコード03-020-02

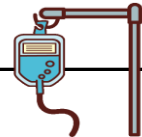
# 【胃全摘術】を受けられる患者様へ

患者様氏名

様

主治医:

No. 2

経過 月 日	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傷の痛みが軽い。</li> <li>・傷からの出血がない。</li> <li>・体を動かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水分がむせなく飲める。</li> <li>・座ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレまで歩くことができる。</li> <li>・ガスがあり、おなかがはらない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事を開始しても腹痛・嘔吐がない。</li> <li>・便通を整えることができる。</li> <li>・つかえなく食事をとること・分割摂取ができる。</li> </ul>
検査	朝6時頃に血液検査があります。 胸・お腹のレントゲンがあります。 		朝6時頃に血液検査があります。	お腹のレントゲンがあります。
点滴	点滴4本と抗生剤が2本あります。 		点滴が4本あります。	点滴が2本あります。
内服薬	医師に確認し、お知らせします。 			緩下剤がはじまります。 食事1回目の後に内服してください。 下痢が続けば看護師に相談してください。 入院前から飲まれている薬は 指示に従って飲み始めてください。 
処置	廻診時ガーゼの交換をします。 鼻の管からの排液が少なければ昼に 抜くことができます。		廻診時背中痛み止めの管を 抜きます。	お腹の管を抜きます。
安静度 リハビリ	体を左右に動かしましょう。 動ければ尿の管を抜き、歩くことができます。		制限はありません。 歩けるようになれば ソックスを脱いでいいです。	
食事	鼻の管が抜ければ少量ずつ 水分(お茶・お水)が飲めます。 	水分のみです。	明日から食事が始まります。	流動食が始まります。 
清潔	看護婦が体を拭きます。陰部を洗浄します。 歯磨きのお手伝いをします。 	看護師が体を拭きます。 動けるようになれば拭けるところはご自分で拭いてください。		
排泄	尿の管が入っています。 		尿の管を抜きます。 歩いてトイレにいきましょう。 (必要な方は尿の量を 測っていただきます。)	
説明	痛みや吐き気等のあるときはお知らせください。		明朝より食事ができます。 栄養師より食事の食べ方の指導が あります。	

注意:現時点で考えられる予定であり、今後検査・治療を進めていくにしたがって変わることがあります。

# 【胃全摘術】を受けられる患者様へ

患者様氏名

様

主治医:

No. 3

経過	術後5日目	術後6日目	術後7・8日目	術後9日目以降(退院日)
月 日	/	/	/ ~	/
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事を開始しても腹痛・嘔吐がない。</li> <li>・便通を整えることができる。</li> <li>・つかえなく食事をとること、 分割摂取ができる。</li> </ul>			
検査				朝6時頃に血液検査があります。 お腹のレントゲンがあります。
点滴	点滴が2本あります。		8日目から 点滴はありません。	
内服薬	緩下剤を飲んで下さい。 入院前から飲まれている薬は 飲み続けてください。 			
処置	ガーゼがあれば廻診時 先生が交換をします。			
安静度 リハビリ	制限はありません。			
食事	3粥食です。 	5分粥食です。 	全粥食です。 	
清潔	体を拭きましょう。 (温タオルが必要ならお知らせください。)			
排泄	歩いてトイレに行きましょう。 (必要な方は尿の量を測ってください。)			
説明		栄養士より 退院後の食事指導があります。 (日にちはお知らせします。) 		医師より翌日以降の退院の許可が出来ます。 看護師が退院後の生活や 次回受診日について説明をします。

注意:現時点で考えられる予定であり、今後検査・治療を進めていくにしたがって変わることがあります。

徳山中央病院外科2001. 6作成2013. 10改訂